

No.	主な意見や質問	回答内容（議会の回答に町回答も含まれます）
1	議会中継見ようとしたが、ホームページから見つけることができなかつた。わかりづらい。「議会中継」が簡単に見られるように改善してほしい。トップページに議会中継と出してほしい。	町ホームページの「町議会」から見ることができます。一般質問の録画については、議会だよりのQRコードから見られます。ホームページのトップページに表示するなど、簡単にみられるよう対応を検討します。
2	令和6年度決算に町制施行70年事業の映画製作費は入っているのか。	決算に入っています。当初予算で約997万円、決算で978万円。主な項目は映画製作費410万円、式典99万円などです。
3	労働費の決算が支出ゼロ円はなぜか。	支出がなくても、項目は置かなければならないものです。以前は出稼ぎ対策などで予算支出していましたが、今出稼ぎに行っている人がいなかっため、支出0円です。千円の予算を計上し、支出0円、決算0円となりました。
4	幅のコミュニティセンターは幅町内の避難所となっているが、土砂災害警戒区域になっており、昨年7月豪雨の時は野公民館に避難した。上長沢地区が孤立した。避難所のことをどう考えているのか。	幅町内会役員と町関係課職員とで、一度お話をさせていただきたいと思います。（住民税務課）
5	農業集落排水で接続していない世帯の臭いを改善してほしい。加入促進のため、接続費の補助金は出せないものか。	他の地区でも同じ課題あり、9月議会で質疑しました。公共下水道と農業集落排水の未接続世帯は179戸（合併浄化槽18戸、単独浄化槽44戸、汲み取り117戸）あります。集落排水への接続促進の啓蒙については、町のホームページ等を活用します。個別に対応しなければならないケースとしては、周辺環境に悪影響を及ぼしている場合が当てはまりますが、住民税務課の環境担当の調査や指導等に基づき、必要に応じ集落排水への接続を指導しますので、情報提供をお願いします。（地域整備課）
6	災害復旧工事で、10トン級ダンプが町道を通行し、道路が下がり、痛みが激しい。本来の町道設計は10トン級ダンプの通行は想定していないと思う、直すのにも莫大な費用がかかることを考えるが、その辺の改善や計画をどのように考えているのか。	町道については、一部橋梁を除き、重量制限のある道路はありません。盛土や切土により造成される道路は、交通量と地盤の堅さで構造を決めますので、車両重量の制限はありません。側溝、擁壁等の構造物は、設計段階で雪の加重も含めた最大の荷重を想定して設計します。ただし、田んぼの中を通る道路や地下水のあるところなどは、地下水の影響を受け、重車両が頻繁に通ることによって、舗装がひび割れたり路面が下がることもあります。修繕については、交通量の多い路線や安全性に直結する箇所を優先とし、計画的に工事を進める方針です。なお、次回点検を待たずに緊急の事案が発生した場合には、安全確保を最優先に、隨時適切な対応を行います。（地域強靭化対策室）
7	クマ対策として、柿の木伐採、片付けに対し、ふるさと納税を活用して助成してはどうか。	県の補助で、山形県野生鳥獣市街地等出没対策事業があり、柿の木等の不要果樹伐採と、クマ等の潜み場となる藪の刈払いによる鳥獣緩衝帯整備が対象です。以上のことから、県の補助金が活用できるため、ふるさと納税活用は想定していません。詳細は、農業振興課（☎32-0947）までお気軽にお問合せ下さい。
8	内山地内の雪寄せ場の排雪を以前、町でしてくれていたが近年してくれなくなったり、雪のやり場なく困っているぜひ排雪してほしい。	現在、町道除雪の投雪は行っておりませんので、排雪につきましては個人での対応となります。また、過去に投雪場所として利用されていた場合であっても、令和2年度以降は経費削減の観点から排雪作業を縮小し、バックホウによる雪割りのみの対応とさせていただいております。（地域強靭化対策室）

第17回議会報告会（令和7年11月）回答書

《富長地区連合町内会》

R7.11.18

No.	主な意見や質問	回答内容（議会の回答に町回答も含まれます）
1	請願と陳情の違いは何か。	請願は内容等も含めて議員の紹介が必要があるので、陳情は意見や要望を誰でも提出できる制度です。請願、陳情は議会において同じように審議・精査しています。
2	クマの出没や捕獲頭数はどれくらいなのか。	11月11日現在の町の報告では、クマの目撃通報は51件で捕獲件数は15頭です。参考までに真室川町では81頭、最上町では86頭です。
3	緊急銃猟は住民を守る制度だと思うがしっかりととした対応が必要ではないのか。 寄せ付けない、入らせない対策、考え等はないのか。	当町を含む多くの市町村ではなるべく実施せず、罠による捕獲や追い払い花火等により対処する方針です。緊急銃猟に備え、猟友会との制度の勉強会、マニュアル作成、損害保険の加入、装備品の整備などを進めている状況です。警察官のライフル銃による銃猟をしてもらえるよう、国に要望しています。 県の案として、示されているものがある。その中に、「人を守る」というメニューが出てくるようです。それを受け、町民が被害に遭わないよう対策を取っていく段階です。
4	捕獲したクマ等はどうしているのか。	山に返すことはせず、殺処分しています。
5	町の猟友会の人数は、ハンター高齢化もあり若手の起用も必要ではないのか。	猟友会の人数は現在15名です。猟友会では3名ほど若手の育成を行う体制づくりをしているようです。町ではハンターになるための資格取得に対し補助をしています。狩猟免許取得するためには、ハードルが高いこともあります。
6	クマの餌となる柿の木を含めた果樹等の伐採について町の補助はないのか。 伐採後の樹木を片付ける費用にも補助をしてほしい。	今年度は1町内会で不要果樹の伐採、2町内会で緩衝帯整備を実施しました。不要果樹の伐採については、来年度は1本あたり上限40,000円に引き上げられる予定です。町でも来年度当初予算に計上しています。（農業振興課）
7	クマの通報は、どの範囲までするべきか迷う。	クマ等を目撃した場合や痕跡を発見した場合は、役場農業振興課まで通報をお願いします。（農業振興課）
8	クマ対策に関して	子どもたちの通学時の心配があるが、町では、「クマ出没時対応マニュアル」の作成を校長へ依頼しています。小学生には、60個の鈴を貸与しています。今後、バス通学の児童にも配布していきます。中学校は全生徒に配布済みです。また、追い払い花火も業務員が使用できるよう研修しているところです。
9	議員数が減っているが、人口減が原因と考えます。 昭和30年の時の人口は？	昭和30年頃、法定数というのがあり、5,000～10,000人以下は20人というがありました。昭和30年は11,891人です。
10	昭和30年11,891人で26人。 昭和62年7,920人。 今は10人の議員で少くないか等はどう考えているのか。	現在の10名については、人口規模だけで考えるわけにはいかないと考えています。70億円を超える予算や議案などを少ない議員だけで審議して、住民の負託に応えることができないのではないかと考えています。最上管内は町村議会では10名の議員定数となっています。
11	議員のなり手不足や女性議員の起用についてどう向き合っているのか。	議会改革特別委員会において、若手の方や女性の方々とワークショップを開催するなど、さまざまな事業をして啓発活動を行っています。また、令和6年9月には模擬議会も実施し、模擬議員として女性3名が一般質問を経験しています。

No.	主な意見や質問	回答内容（議会の回答に町回答も含まれます）
12	11の関連で回答	議員のなり手不足の解消について、対応策の一つと考えられる議員報酬の改定を検討しています。 今年度、議会改革特別委員会で「議会運営に関するアンケート調査」を実施しています。結果については、議会だよりと町ホームページに掲載しご報告いたします。
13	議員報酬を2割アップして、議員定数を2割減らすという考えはありませんか。	最上町、真室川町は定数を減らして、報酬をあげた事実はありますが、報酬と定数をセットで考えるべきではないと考えています。委員会構成を8人で回していくのは非常に困難です。議員の活動日数が116日となっていますが、議員を減らすと活動日数も増えてしまい、益々なり手不足に拍車をかけてしまうのではないかと考えています。人数が少なくなれば色々な意見も出づらくなり、町民の声も反映されにくくなることも考えられます。また、専門的な人材も必要となると考えます。
14	女性議員がいないという状況をどのように考えているか。地区の役員にも女性がならないという風潮がある。町内会から少しづつ取り組んでいかなければならぬのではないか。	模擬議会を開催するなどして女性の活躍を促しています。今、推薦する団体、支持してくれる団体が、少なくなっていることもなり手不足に拍車をかけていることを感じています。女性議員、舟形町と戸沢村がいない状況です。ぜひ女性議員が誕生してくれることを期待しています。
15	不在だった副町長の起用で何か変化はありましたか。いない時期はたいへんだったのか。	今年の4月からは副町長を置いたことにより、国や県への要望等で町長が不在の時に、町長の代役として対応するなど改善されていると考えています。
16	長者原の県道消雪道路で水圧がバラバラで消雪がならない箇所があるので早めに修繕してもらいたい。	(参考) 消雪設備の修繕・整備について県へ要望しております。 低温で大雪の日が連續すると、健全な消雪設備を備える道路でも、水の当たるところだけが消えて、雪が残っているところが車で踏み固められ、路面がデコボコになってしまいます。通行に支障がある場合は機械除雪を行ないますので、情報提供をお願いします。（地域整備課）
17	AEDの設置について指定の避難場所以外で、頻繁に利用される各町内の公民館にも設置できないのか。	地区の公民館に必要であると思っていますので、町当局に要望しています。
18	健康福祉課で100歳体操など高齢者への健康に対する取り組みはしているが、もう少し若い世代にも普及できないものか。	議会としても応援、要望していくべきことと思います。 若いうちから健康づくりに取り組み、ぜひ健康ポイント事業を活用していただきたいと考えています。
19	富田公民館付近の町道の消雪水の水圧調整は出来ないのか。場所で出方がバラバラです。夜間は歩けない。	原因としては、配管内の土砂詰まりや散水ノズルの不具合などが考えられ、水の出方にばらつきが生じ、改善が難しい状況となっております。しかしながら、まずは散水ノズルの調整・交換による改善策を検討し、住民の皆さまが安心して通行できる環境づくりに努めてまいります。（地域強靭化対策室）

第17回議会報告会（令和7年11月）回答書 《舟形地区地域運営組織》

R7.11.19

No.	主な意見や質問	回答内容（議会の回答に町回答も含まれます）
1	先月議会の担い手不足のアンケート調査があったが、以前おこなった若者・商工会女性との話合いではどういう話題になったのか。女性の意見を聞いていかなければならないのではないか。	若者世代、女性の方とのワークショップを開催しました。昨年9月には若者・女性による模擬議会を開催、8名参加（うち女性3名）が執行部に一般質問し、議員のハードルは高くないことを認識されたのではないかと考えています。
2	現在の議員報酬では食べていけないのではないか、報酬23万円では職業として考える人がいないのではないか。町職員は30歳で30万、40歳で35万円位になるのでは、会社員は議員になれない。また、表に現れない議員活動はなにをしているのか、もっとアピールが必要ではないか。	現在の報酬月額23万円は子育て世代は厳しい報酬ではないかと考えています。アンケート結果を参考に、次回の選挙までには若者・女性が立候補しやすい環境づくりを今後、議会改革特別委員会で検討していきます。議員とは何をしているのかを知ってもらうための周知活動をどんどん実施していく必要があると考えています。
3	長沢から舟形に流れている大堰水路に、伐採した杉の木の枝、ペットボトルなど不法投棄が多い、これらを流域の舟形第2町内会で処理しなければならない。不法投棄防止看板を設置してもらいたい。	町内会より要望があった際には、「ポイ捨て禁止」や「不法投棄禁止」等の看板を提供します。 舟形町土地改良区に看板設置を伝えました。 農家の人が大堰にゴミを捨てるとはないと思うとのことでしたが、場所を絞って看板設置を検討するとの回答でした。（住民税務課）
4	クマ対策として、地域の柿の木伐採を進めてほしい。	今年度は1町内会で不要果樹の伐採、2町内会で緩衝帯整備を実施しました。不要果樹の伐採については、来年度は1本あたり上限40,000円に引き上げられる予定です。町でも来年度当初予算に計上しています。
5	最上管内町村で公債比率高い町村は①大蔵村、②鮭川村、⑥舟形町とネットではなっていた。最上郡のランクを議会で報告してほしい。10番以内にならないよう議会として監視してほしい。	これまで舟形町は実質公債比率16%と町の財政規模に対して借金返済割合が高い町でありましたが、令和6年は10.9%と下がっています。また、町の貯金もしっかりとできているため、将来的にみた町の借金の残高は実質なしという比率もあります。ランクの公表は県でもしていますが、町でも検討していきます。
6	A IチャットG P Tが普及しており、議会中継内容を声だけではなく、文字で表せば見やすいのではないか。	A IやチャットG P Tなどの技術により、音声を文字化することは可能であると認識していますが、発音（訛）など、正しく文字化されない場合もあるため、リアルタイムでの文字表示するには、難しい課題があると感じています。
7	町内は高齢化し、子ども達は県外へ移住するなどにより、空き家が増えている。子育て世代のアパートはあるが、老人向けアパートも必要ではないのか。	町内の商店が少なくなり買い物ができないことや、高齢化により除雪や運転ができなくなることがあります、町の中心部であれば、金融機関、医療機関もあり安心して暮らせるため、町中心部へのアパート暮らしの要望もあり、議会でも議論していますが、町では自宅で生活できるような支援を考えており、今の段階ではアパート建設は考えていないとのことです。
8	町への要望については、町内会経由と議会経由あるがどう違うのか。これまで、臭気（マッシュルーム）問題を要望してきたが、改善されていない。	要望の出し方での町の対応について違いはありません。臭気については、議会でも常任委員会所管事務調査などで対応を検討していきます。
9	舟形中学校移転検討委員会が開催されているが、50年先を見据えた舟形町の構想が必要ではないのか。他にはないいろんな体験できる施設があれば、舟形に来る人多くなるのではとか、舟形にしかできない教育施設を整備すべきではないのか。	将来に向けて、検討していくよう、教育委員会に要望していきます。
10	議会報告会の開催趣旨として議会は町民になにを求めるのか、わからないので人が集まらない。具体的なテーマに対して、町民が意見をいうスタイルが良いのではないか。	昨年、農村環境改善センターで議員の定数と報酬についてのテーマで開催したが、遠慮してか、言いにくいのか、意見が出ませんでした。テーマについては今後検討していきます。

No.	主な意見や質問	回答内容（議会の回答に町回答も含まれます）
1	議会中継のライブ配信について、傍聴者数は行政職員がパソコン等で閲覧した場合もカウントされるのか	ライブ配信については誰でも簡単に閲覧可能となりますので、職員が閲覧した場合でもカウントされます。
2	議会費決算で共済費の退職議員分と職員分とあるが内容は	過去の退職された議員の年金で、年金制度が無くなった現在も、国や町の負担分があり計上されています。職員分については細分化されており、議会事務局分となります。
3	災害の修繕でドウガ沢の護岸工事は何度かしているが改修工事内容があまりにも疎かではないか。予算が少ないからなのか。力を入れてやってほしい。始期や終期もわからない工事の進め方はどうなのか。早くしてほしい。	本堀地区を流れる県管理河川です。 現在、決壊した箇所等を土のうで対策している状況が長く続いております。 県へ護岸整備要望しております。当面の対策として、土砂浚渫、通水断面を狭くしないような土のうの再設置を要望します。また、工事については、土地関係者等に説明の上、工事を進めるなどを業者に指導するよう伝えます。（地域整備課）
4	本堀の瀬脇側の土砂崩れの工事が工期内で終わるかわからない状況ということを聞いた。工期が伸びるのであれば迂回路を修復して、通行できないのか。山（下狩りをしている）を通る迂回路があるので、そこを利用してはどうか。	県道大石田畠線の瀬脇～本堀間は、現在、民有林部分の治山工事を行なっておりますが、工事が難航しており、また、支障電柱の移転があり、今年度中の完成は不可能で、完成時期が見通せない状況です。 現在は福寿野経由での迂回ですが、より短時間で安全に迂回が可能であれば通行する方の負担軽減につながりますので、迂回路として利用可能か、県とともに検討したいと思いますので、場所をご教示願います。（地域整備課）
5	決算額で対前年比で特に額が増えた部分の詳細を教えてほしい。	商工費については、まんさくのオープンに伴う計上。土木費については、農林専門職大学のアパート造成の経費となっています。
6	西又地区は現在7軒11人（うち一人暮らしが3軒）しかなく公民館、消防小屋、ゴミステーションの除雪を当番制で実施している。1日で3か所もする場合もあり、昨年度は助成金を増額していただきましたが、業者を頼んでやるので運搬代など足が出る場合があり負担も大。消防団員も一人しかいない。	これからみんなで考えていかなくてはいけない課題と考えています。地域運営組織において検討していくことも必要ではないかと考えています。
7	堀内はクマではなく、イノシシが問題。クマの情報など防災無線で、堀内地区の放送が流れる場合があるが、デジタルを活用して場所などの詳細も伝えてほしい。 猟友会の会員は何人いるのか。	①イノシシ対策については、藪の刈り払いや野菜の残渣等の誘因物を放置しないこと、電気柵設置等による対策をお願いしています。また、忌避剤等についても、現在情報収集に努めているところです。 ②クマの出没場所については、なるべく分かりやすく放送しているつもりですが、今後デジタルを活用した情報提供について検討していきます。（農業振興課） 猟友会の会員は15人で、高齢化もしています。堀内地区に会員がいない状況で、クマ対策に追われている状況で、イノシシの対応が手薄となっているようです。
8	コインランドリーの設置看板を見かけたが、いつ頃出来るのか。 コインランドリーのニーズが、若あゆ温泉のコテージ利用者からある。	民間企業での設置となります。現在、業者間で打ち合わせ中とのことです。 決定等の情報が入り次第、ご報告いたします。
9	大平へ行く国道13号線の信号機が撤去されたが、その経緯わかりますか。	8年以前から計画はあったようです。 対象地区的住民説明会や意見交換会を経て、今回の撤去となったようです。（住民税務課）